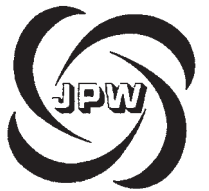


2012春季生活闘争

第1回中央闘争委員会でも序盤のとりくみを確認

紙パ連合

発行所
日本紙パルプ紙加工
産業労働組合連合会
〒107-8333 東京都港区北青山
2丁目12番4号
TEL 03-3402-7656
FAX 03-3402-7659
URL <http://www.jpw.or.jp/>
発行人 鈴木辰男
購読料は組合費を含む
定価2頁10円、4頁20円



到達水準の達成で 働らく者の活力確保を!

紙パ連合は2月17日、本部会議室で第1回中央闘争委員会を開催し、連合と各産別・組合の動向、中央執行部構成組合のとりくみ状況を把握する中で、序盤のとりくみにあたって「当面の方針・その1」を確認するとともに、第1次集中決着日(3月14日)にむけ、今後の交渉を精力的に展開していくことを確認した。

冒頭あいさつした鈴木 凍結を訴えているが、製中央闘争委員長は、「今次闘争では個別賃金要求方式を取り組み、格差を明確にして生活改善を図ることとした。取り巻く環境は厳しいが、積極的に要求して取り組みを進め、問題点があれば点検の中で検討・対応しながら、今後の発展に繋がってほしい。現状では、労働者の賃金水準の低下、非正規雇用の増大、低所得者層の増加など労働者を取り巻く環境は厳しく、すべての労働者を対象にした労働条件の向上が必要である。賃上げによる消費拡大で、日本経済をデフレ・スパイラルから脱却させ、経済の持続的な成長に繋げなければならぬ。そのような中で、経営は定昇の延期・

1 情勢認識と基本的な姿勢

◎全般の春季生活闘争情勢

1月25日、連合と日本経団連との懇談会が行われ、2012春季生活闘争が本格的にスタートを切った。連合は、人・労働はコストでなく付加価値を生み出す源泉であり、人への投資の重要性を強調し「産業・企業を支える人材力・現場総合力の向上」と「マクロ的

関係が大きく揺るがしかねなく、容認できるものではない。闘争開始に向けて連合は「復興・再生に全力、『働くことを軸とする安心社会』を実現しよう」をスローガンに、2・10春闘中央総決起集会を開催した。この中で古賀会長は「すべての労働者を視野に入れ、低下した賃金の復元、格差是正、底上げ、底支えをはかると同時に、産業・企業を支援する」と述べた。

◎紙パルプ・紙加工産業の状況

2011年の紙・板紙の国内出荷量は、国内外の景気の停滞、震災の影響で需要減少と生産体制混乱による供給量不足などから、2千578万トンの前年度比で1・6%減少した。今後も広告媒体・書籍の電子化へのシフトや少子化などによる需要量の減少が予想されるが、板紙は、環境への影響を背景に梱包材のプラスチック製品から段ボールへのシフトなどにより需要増が期待できる。

◎闘争への基本姿勢

日本経済は震災からの復興・再生という大きな課題を抱える中で、長期化するデフレや円高など取り巻く環境は厳しさを増している。また、非正規労働者の増加や若年層の雇用不安が深刻化する中で、生活保護受給者は

極めて内需型産業であり、内需の拡大、景気回復が産業・企業の業績回復に大きく影響する。また、国際競争力を向上させるには、高付加価値製品開発などの施策が必要であり、そのためには、「人への投資」による優秀な人材の確保と従業員への潜在能力を引き出すことが必要である。

2 序盤のとりくみに向けて

(1)各組合は、産別統一要求基準を踏まえた要求を決定し、2月29日(水)までに要求提出を行い、直ちに団体交渉を実施する。
(2)団体交渉にあたっては、要求に確信を持ち、会社へ要求主旨を理解させ、粘り強く交渉を積み重ねていく。
(3)深刻な状況が続く国内経済を回復させ、内需型産業である紙パルプ・紙加工産業が発展していくためには、積極的な賃金の引き上げで個人消費を喚起させ、内需を拡大させることが重要である。そのことが私たち働く者の雇

3 今後の闘争日程

- (1)要求提出 2月29日(水)まで
- (2)集中決着日(集中決着ゾーン) 3月14日(水) 第1次集中決着日 3月14日(水) 第2次集中決着ゾーン 3月24日
- (3)闘争諸会議 3月2日(金) Lグループ会議 5日(月) 第2回中央闘争委員会 10日(土) 第3回中央闘争委員会 兼拡大Hグループ会議 12日(月) Lグループ会議 14日(水) Lグループ会議 17日(土) Sグループ会議 (4)統一行動日 3月13日(火) 統一ビラ配布行動、他 (5)経営対策 3月12日(月) 第2回日本製紙連合会 労務部会への申し入れ

明日に繋がる適正な配分を求めよう

各地本で、単組・支部代表者会議ひらく

「絆」共闘を強める



北海道地方本部
挨拶する鈴木委員長

北海道地方本部 1月28日、札幌ガーデンパレスホテルにおいて、単組・支部代表者会議を開催し、紙パ本部から鈴木中央執行委員長、18単組・支部から総勢43名が参加しました。

冒頭、前田地本執行委員長より「東日本大震災で、東北を中心に甚大な被害をもたらしたが、世相を表す漢字となった『絆』に象徴されるように、多くの日本人が『助け合い』や『思いやり』などの、人との繋がりの大切さを再認識した。私たち労働組合も、こうした人としての原点を見つめ直して活動していかなければならないと感じている」と挨拶しました。

続いて鈴木中央執行委員長より賃金要求については、今年度より平均賃金要求方式から個別賃金要求方式に変更したことから、「個別賃金要求の具体的な内容について」紙パ連合としての考え方、賃金交渉に向けた基礎知識についての説明を受けました。

その後、開催したSグループ会議では「次世代の組合役員育成について」「自然災害対応マニュアルについて」、それぞれ各単組より取り組み状況についての報告・意見交換を行い、Sグループとしての共闘を強めました。(大西書記長：日本・旭川)

続いて、宮崎副委員長は、紙パ産業の動向ならびに紙パ連合2012春季生活闘争に向けた取組みについて挨拶し、「要求基準に対する考え方、個別賃金要求方式について説明した後に質疑応答を行いました。引き続き、各単組・支部の今春闘への取組み状況などが報告され、山田青年女性委員長からは、青年活動の活性化に向けて、今年度予定している各種活動への積極的参加の要請がありました。最後に、参加者全員で「日本製紙ケミカル労働力強い団結カンパニー」

共闘・連携を強化!

関西地本発 2月4日、大阪府吹田勤労者会館において、第2回単組支部代表者会議を開催し、紙パ本部をはじめ18単組・支部から総勢34名が参加しました。

冒頭、紙パ連合自念中央執行委員長は、「今回の闘争より、新たに個別賃金要求方式に取り組み、格差を明確にして、生活改善を図る。取り巻く環境は厳しいが、積極的に取り組み、問題点を検討・対応して、今後の発展に繋げていきたい。また、組合員の会社諸施策に対する協力・努力を働きかけ、私たち働く者(藤岡書記長：兵庫製紙)

最後に、花谷委員長の掛け声による「ガンバロー三唱」で、組織の連携強化を図り勝ち抜くことを誓い合いました。



意見交換の中で、情報を共有化した(東海地本)

ブロック中心に団結

東海地本発 2月26日、静岡市東海軒会館において、単組・支部代表者会議を開催しました。

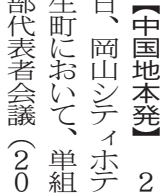
冒頭、角山地本委員長は、東海地本の情勢報告と今春闘における要求方式の考え方についての挨拶をしました。

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。

その後、出席者から要求状況などが報告され、情報交換をするともに

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。

努力に応える闘争を



中国地本発

中国地本発 2月7日、岡山シティホテル厚生町において、単組・支部代表者会議(2012春闘学習会)を開催し、紙パ連合本部をはじめ、12単組・支部から総勢32名が参加しました。

冒頭、花岡地本委員長は、年末から年初にかけて災害が多発していることから、「安全については最優先に取組み類似災害防止に努めていただき

続いて、宮崎副委員長は、紙パ産業の動向ならびに紙パ連合2012春季生活闘争に向けた取組みについて挨拶し、「要求基準に対する考え方、個別賃金要求方式について説明した後に質疑応答を行いました。引き続き、各単組・支部の今春闘への取組み状況などが報告され、山田青年女性委員長からは、青年活動の活性化に向けて、今年度予定している各種活動への積極的参加の要請がありました。最後に、参加者全員で「日本製紙ケミカル労働力強い団結カンパニー」

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。

その後、出席者から要求状況などが報告され、情報交換をするともに

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。

その後、出席者から要求状況などが報告され、情報交換をするともに

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。



組合員への信頼につながる闘争を訴える自念副委員長

やる気を強める闘争

四国地本発 2月24日、徳島ワシントンホテルにおいて、2012春闘学習会を開催し、紙パ連合本部をはじめ、四単組・支部から総勢45名が参加しました。

冒頭、近藤地本執行委員長は、国内の経済情勢と紙パ連合の要求方針と課題の説明があり、「今までの闘争の振り返り」や「今年度の闘争の展望」について、各単組・支部の代表者が意見を述べた。

続いて、山川中央執行委員長より、2012春季生活闘争をめぐる情勢と課題の提起があり、「産別統一要求基準を設

その後、各単組・支部の代表者が意見を述べた。

引き続き、本部勝又中央執行委員長からは、春闘を受け意見交換を行いました。参加者からは、「個別賃金要求方式」と「平均賃金要求方式」の違いについて、資料に沿ってわかり易い説明がありました。



総勢38名が参加し、共闘強化を確認

(地蔵書記長：中越パ・二塚)

共闘を強化する!

北陸地本発 2月17日、石川県山中温泉「花つばき」において、単組支部代表者会議および2012春季生活闘争学習会を開催しました。

冒頭、春季生活闘争学習会の「租税教室」では、金沢国税局から税金の制度や確定申告などを雑談等交えながらのわかりやすい説明がありました。

その後、各単組・支部の代表者が意見を述べた。

パピルス年金 第22次募集のお知らせ

- 募集期間 2012年4月2日(月) ~ 6月29日(金)
- 申し込み 所属の組合・支部にてお申し込み願います。

◎各単組・支部においては、組合役員・職場委員・一般組合員を対象とした「説明会」の開催をお願い致します。(担当生保より講師を派遣致します)

〈紙パ連合パピルス年金共済室〉
フリーダイヤル 0120-47-7117